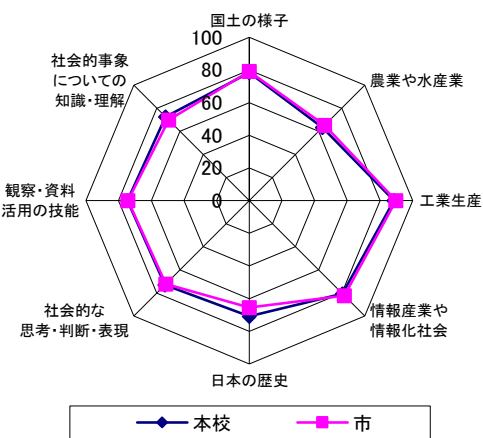


宇都宮市立富士見小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の様子	78.3	79.1	74.9
	農業や水産業	63.4	65.1	63.7
	工業生産	88.5	89.7	86.2
	情報産業や情報化社会	80.7	82.2	73.1
	日本の歴史	70.8	65.4	65.6
観点別	社会的な思考・判断・表現	73.0	72.2	69.0
	観察・資料活用技能	74.6	74.3	69.2
	社会的事象についての知識・理解	72.5	69.9	69.3

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の様子	○「日本の国土について理解している」の正答率は65.1%で、市の正答率を6.3ポイント上回っている。 ●「主な国の名称と位置について理解している」の正答率は71.6%で、市の正答率を7.4ポイント下回っている。	・主な国の名称と位置関係について正しく覚えられようように、教室に世界地図を掲示したり、プリントなどで繰り返し学習したりして、世界の国について触れる機会を増やしていく。
農業や水産業	○「国産と外国産の農産物の値段の違いは、耕地面積や生産方法によるものであることを、資料を読み取り考えて、表現することができる」の正答率は45.3%で、市の正答率を5.1ポイント上回っている。 ●「米作りの作業工程と作業を行う季節について理解している」の正答率は49.5%で、市の正答率を9.8ポイント下回っている。	・米作りについて、作業時期や順番を写真や動画などの資料を提示しながら、言葉としての理解に留めず、実感を伴った理解ができるよう指導していく。
工業生産	●「工業製品の種類について理解している」の正答率は87.2%で、市の正答率を1.8ポイント下回っている。	・工業製品の種類について、プリントなどに整理させ、理解を深めていく。
情報産業や情報化社会	○「医療での情報ネットワークの利便性について、資料を読み取り考えることができる」の正答率は80.7%で、市の正答率を2.1ポイント上回っている。 ●「マスメディアの種類について理解している」の正答率は80.7%で、市の正答率を5.1ポイント下回っている。	・マスメディアの種類について、プリントなどに整理させ、理解を深めていく。
日本の歴史	○「豊臣秀吉が刀狩の政策を行ったことについて理解している」の正答率は74.3%で、市の正答率を18.3ポイント上回っている。 ○「室町文化を代表する書院造について理解している」の正答率は78.4%で、市の正答率を16.2ポイント上回っている。 ●「条約改正について、資料を読み取り考えることができる」の正答率は46.8%で、市の正答率を13.9ポイント下回っている。	・明治時代は同時期に主な出来事が重複しているところが多く、混乱しやすいと思われる。年表で出来事の順番と関連性について考えさせ、知識が正しく定着するよう指導していく。